

# 前田 けんいちろう

千葉市議会令和7年第2回定例会が6月5日から6月25日まで行われ、私は自由民主党千葉市議会議員団の幹事長として神谷市長に代表質問をさせていただきました。

## 神谷市長 2期目の市政運営について

今後の4年間、どのような理念や姿勢を持って市政運営に当たっていくのか、多岐にわたる政策項目をどのように実現していくのか。

**市長:**自由民主党千葉市議会議員団を代表し、前田健一郎議員より市政各般にわたる御質問をいただきましたので、お答えいたします。

はじめに、2期目の市政運営についてお答えします。まず、今後の4年間、どのような理念や姿勢を持って市政運営に当たっていくのかについてですが、これまでの4年間、コロナ禍をはじめ様々な課題に正面から向き合いながら市政運営に取り組んで参りました。特に危機管理体制の強化や子育て支援策の充実、企業立地の推進、緑と水辺を感じられるまちづくりなど、市民の皆様を守りながら、地域経済の発展、都市基盤の強化に取り組み、基本計画で目指している本市の将来の姿である、「みんなが輝く都市と自然が織りなす。千葉市」の実現に向けて着実に前進できた4年間だったと認識しております。その上で、これからの4年間については、1期目の取組みを基盤としながら、「地域をまもり未来を創る」を基本姿勢として掲げ、900年を数える都市の歴史を受け継ぎ、市民や地域とともに、本市の未来を具現化する取組みを推進していきたいと考えております。本市の持つ自然や文化、歴史、地域の魅力など「地のちから」を市民の皆様と共に改めて見つめ直すとともに、本市の将来像を共有し、新たな時代を切り拓くまちづくりに取り組んで参りたいと考えております。今後も、本市が経済や文教の拠点都市として、選ばれ、暮らし続けたいと思えるまちであり続けるための市政運営に全力で取り組んで参ります。

政策の実現に向けた取組みについては、引き続き「対話と現場主義」をベースに、市議会での議論や、市民の皆様との直接の対話を通じて都市の未来像を共有するとともに、マニフェストに掲げる政策項目のうち、喫緊の課題であり、特に早期に実施を検討すべき項目については、状況に応じて補正予算を編成するなど、機動的な対応を図り、議会の御協力を賜りながら実現に向け取り組んで参ります。それ以外の項目についても、今後策定を進めていく第2次実施計画において、10の未来ビジョンと15の約束の着実な実現を目指して参ります。

## 県市間の連携について

県市間の連携の成果と基本的な考え方について、今後の県との協議の進め方について。

**市長:**県市間の課題解決や県市それぞれの行政サービス及び効率の向上を図ることを目的に、千葉県と千葉市の連携推進会議を設置し、まずは県市間で特に調整が必要な事項として、消防防災ヘリコプターと水道事業をテーマに協議を行ってきました。消防防災ヘリコプターの広域的な活用については、県及び県内市町村からの要請に基づく、災害時の情報収集や応急対策等に県市が連携して取り組むことで、県全体の消防防災力向上に寄与しており、水道事業については、県企業局の施設となる予定の長柄浄水場の活用を検討するという、これまでにない新たな手法を見いだせたことは、それぞれ大きな成果を上げることができたものと認識しております。今後も市民及び県民ともにメリットのある県市間連携に取り組んで参ります。

今後の県との協議の進め方については、担当部署間での協議をより活発にしていくとともに、必要に応じて首長同士による県市連携推進会議での協議を行うなどもしながら、県市間の課題解決や行政サービス及び効率の向上に資する取組みを着実に進めて参ります。

## 千葉開府900年記念事業について

記念事業が目指すビジョンについて、改めてお聞かせください。

**市長:**本市は、来年令和8年に、「開府900年」という歴史的な節目を迎え、この機を捉えて、市民の皆様と共に本市の過去を振り返ることから現在を見つめ直し、未来への展望を描いていくことが重要であると考えており、記念事業が、「歴史の継承と市民意識の醸成」及び「未来志向の人づくり・文化づくり。まちづくり」の機会となるよう取り組んで参ります。

## 神谷市長 2期目の市政運営について代表質問



## マリンスタジアムの再構築について

新スタジアムの建設候補地として、幕張メッセ駐車場のJ R幕張豊砂駅側を選定した理由について、2点目に、屋外型スタジアムを選択した理由について、3点目に、本市の財政負担縮減に向けて、今後、どのような取り組みをしていくのか、4点目に、豊砂地区や幕張新都心全体のまちづくりにどのように寄与していくのか。

**市長:**新スタジアムの建設候補地の選定理由についてですが、建設候補地の選定に当たりましては、スタジアム再整備により、幕張新都心の活力を最大限に引き出し、回遊性の向上や公共空間の有効活用、さらには、アフターコンベンションの充実、スポーツ観戦・体験の機会の拡充など新都心の課題解決につなげていくことが重要であると考えております。この考えのもと、十分な敷地面積が確保でき、交通アクセスに優れ、周辺の施設などとの相乗効果を生み出すことが期待できることから、幕張メッセ駐車場を候補地として選定しております。

屋外型スタジアムを選択した理由については第一に、地域資源の活用と現スタジアムの歴史の継承の点が挙げられます。現スタジアムの、海が近く、潮風が心地よく、青空が広がるといった、五感に訴える環境は、開設以来、多くの人々の心に刻まれ、培われてきた素晴らしい地域資源であり、新スタジアムを屋外型にすることで、この五感に訴える環境と歴史を継承して参りたいと考えております。次に、スタジアム経営とイベント等での機能分担の観点です。直近の民間のデータでは、3万席以上の会場を使用するイベントの需要は極めて限られます。プロ野球興行のない日に、この規模のイベントを連日入れることは難しく、仮に開閉式ドームとした場合には、初期投資額が1,000億円を超えることも予想され、投資の回収、経営の持続性の面で、屋外型スタジアムの方が優位性を有するものと考えております。また、周辺には幕張メッセがあり、幕張海浜公園のAブロックでも民間事業者がアリーナ建設を検討されていることなども踏まえると、これら屋内型施設との開催イベントの棲み分けにより、幕張新都心全体として多様なイベントに対応することが可能となります。これらを総合的に勘案して、「幕張」だからこそできる屋外型のスタジアムをポジティブな姿勢で選択したものであり、「幕張の『海・風・空』を感じ まちとつながる エンターテインメントスタジアム」の実現に取り組んで参りたいと考えております。

財政負担縮減に向けた取り組みについては、新スタジアムは、365日楽しめるスタジアムとして、賑わい創出や高い経済効果を発揮させていくことを目指しております。このような効果を十分発揮させていくには、千葉ロッテマリーンズや民間事業者のノウハウや資金を活用していく必要があることから、今後は、資金面を含む、官民連携による事業化に向けた検討を進めて参ります。検討に当たりましては、千葉ロッテマリーンズや事業協力者となる民間事業者とともに、事業費の精査を行うほか、初期投資部分については、国庫補助金の活用や寄付金を募り、運営段階においても、新たなスタジアムの運営者の収入の一部を市債の償還財源に充当するなど、様々な資金調達手段を検討し、本市の財政負担の縮減に向け取り組んで参ります。

# 都市と自然が調和する本市の強みをさらに磨き上げていくことを期待

## 想定最大規模の高潮の被害想定を踏まえた避難について

1点目に、避難者数の想定はどのような結果だったのか、2点目に浸水想定区域からの避難についてどのように考えているか、3点目に、今後はどのような対策が必要と考えているのか。

**市長:**調査の結果、最大の被害想定となった、1,000年から5,000年に一度起こりうる、いわゆる想定最大規模の高潮による被害では、避難が困難となる浸水深0.5メートルを上回る地域の居住者数は、中央区、美浜区を中心に約29万人となっております。

高潮は津波と異なり、発生予測に基づく事前避難が可能であり、事前に避難することによって被害を軽減することができます。このため、平常時より、台風等の接近前の早い段階から浸水想定区域外へ避難する早期避難や在宅避難を含めた分散避難を検討し、準備することについて、市民の皆様にご認識していただけるよう説明するとともに、高潮発生が予測される場合にも、早期避難と分散避難の呼びかけを行って参ります。今後の対策についてですが、市民の命を守ることを第一に考え、災害発生に備え適切な避難行動を取れるよう、早期避難と分散避難の2つを柱とした高潮避難計画の策定を進めて参ります。

## 財政運営における課題について

今後4年間の財政運営の課題をどのように認識されているのか。

**市長:**これまで、本市では、将来にわたり持続可能な財政構造の確立を目指し、議会や市民の皆様のご理解とご協力の下、財政の健全性に配慮した取組を進めてきており、一定の成果を上げてきたところです。しかしながら、過去の危機的な財政状況の中、収支均衡を図るためにやむを得ず実施した市債管理基金等からの借入金については、返済を行っているものの、令和5年度決算で157億円という多額の借入れが残っております。また、人件費や扶助費の上昇のほか、物価高騰の継続による各種行政コストの増加など、市税の増収を上回る歳出の増加に加え、市有施設の老朽化への対応などによる建設事業費の増嵩のほか、金利の上昇に伴う公債費負担の増加が見込まれております。

こうした中で、財政調整基金残高が減少傾向にあり、収支状況は一段と厳しくなることが予想されます。こうした状況を踏まえ、公共料金の見直しのほか、引き続き、市税等の徴収率の向上や将来の税源の涵養などの歳入確保に向けたあらゆる対策を講じるとともに、歳出においても、必要に応じて、既存事務事業を見直すことなどにより、持続可能な財政構造の構築に努めて参ります。

この後も神谷市長2期目の基本姿勢について以下の質問をさせていただきご答弁をいただきました。



## 施設の老朽化対策について

1点目に、公共施設の老朽化対応をマニフェストで新たに約束したことの狙いは? 2点目に、今後4年間で、どのような施設の老朽化対応に取り組む予定か。

## 市民会館の再整備について

市民会館再整備に係る市の方向性について。

## 千葉国際芸術祭2025について

千葉国際芸術祭2025の令和7年度の取組みについて。

## 斎場について

1点目に、千葉市斎場における火葬集中期の現状と対応について、2点目に、将来的な火葬需要の更なる増加への対応について。

## 市営霊園について

1点目に、墓地供給と整備の現状について、2点目に、今後の墓地供給に当たっての方針について。

## 子育てと仕事の両立ができる環境づくりについて

現役世代が子育てと仕事を両立することができる環境をどのように実現していくのか。

## プラスチックの資源循環について

1点目に、プラスチック資源循環の考え方について、2点目に、答申内容を踏まえた今後の取組みについて。

## 地球温暖化対策実行計画の推進について

1点目に、脱炭素社会の構築に向けた市域全体の取組みについて、2点目に、市役所の取組みについて。

## 中小企業者に対する支援について

1点目に、市内の中小企業の状況について、2点目に、今後の取組みについて。

## 宿泊税について

1点目に、アンケートの結果について、2点目に、今後の取組について。

## 未来の千葉市農業創造事業について

1点目に、「未来の千葉市農業創造事業」のこれまでの経緯と支援状況について、2点目に、今後の取組みについて。

## 自転車の利用環境について

1点目に、市営駐輪場の課題認識について、2点目に、市営駐輪場の今後の取組みについて。

## 下水道事業の経営について

下水道経営の現状と今後について。

## 路線バスの維持・確保の支援について

1点目に、路線バスの維持確保に係る支援として、現在の取り組み状況について、2点目に、路線バス事業者への支援など、今後の展開について。

## 稲毛海浜公園リニューアル事業について

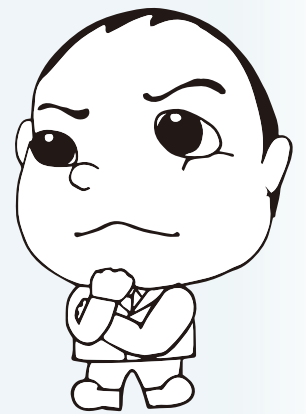
1点目に、事業評価について、2点目に、BOTANICA MUSEUM(ボタニカミュージアム)の利用状況について。

## 道路整備について

1点目に、幹線道路の整備方針について、2点目に、新湾岸道路の地元コミュニケーション活動で聴取した意見の内容と今後の取組みについて。

## 学校施設の環境整備について

1点目に、学校体育館冷暖房設備の整備計画の前倒しについて、2点目に、学校体育館冷暖房設備整備の財源について。



## 前田健一郎からの意見と要望

神谷市長より、真摯かつ丁寧なご答弁をいただいた後、私からの意見・要望を述べさせていただきました。2期目の市政運営についてご答弁では、神谷市長から、この4年間は、「都市機能の中に緑と水辺が感じられ、セーフティーネットが働き、豊かなライフスタイルが実現できる千葉市」の実現に向け、市民や地域とともに、「地域をまもり未来を創る」市政に取り組んでいく旨の力強い決意が語られました。このうち、「緑と水辺」については、本市は、市内全域に渡り豊かな自然環境に恵まれ、これが本市の強みの一つとなっているものと認識しております。この自然環境のうち、「海辺」については、本市の都市アイデンティティを形成する4つの地域資源の一つであり、重点的な魅力向上の取組みにより、市民の認知度が高く、広く評価されておりますが、この海辺と内陸をつなぐ市内を流れる13の河川や、その源流にある里山や谷津田などの豊かな緑も併せ、市域全体に連続と続く自然環境の一体的な魅力創出を図ることにより、先人が残した緑と水辺の環境のさらなる充実を図りながら、都市と自然が調和する本市の強みをさらに磨き上げていくことを期待しております。

最後に、我々、会派一同は、一丸となって、引き続き、神谷市長をお支えすることを申し上げ、自由民主党千葉市議会議員団を代表しての質問を締めさせていただきました。

市政に対するご意見をお寄せ下さい! 自由民主党千葉市議会議員団 前田 健一郎 TEL043-245-5480

発行:千葉市議会議員 前田 健一郎 千葉市若葉区桜木1-29-2-101 (事務所移転しました) TEL043-312-1793